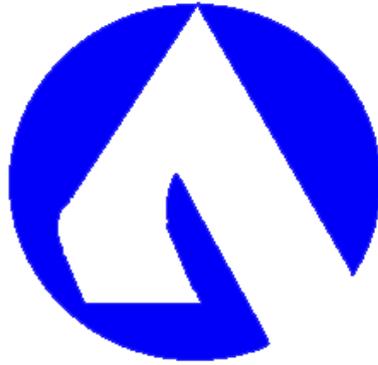


# ハウス建て方手引書

パイプハウス組立手引き書  
当社型式SE30



秋田共栄物産株式会社  
秋田県秋田市土崎港相染町字浜なし山  
17-10  
電話018-846-1511 FAX018-846-2112

# ハウス建て方手引書

## 1. 事前準備

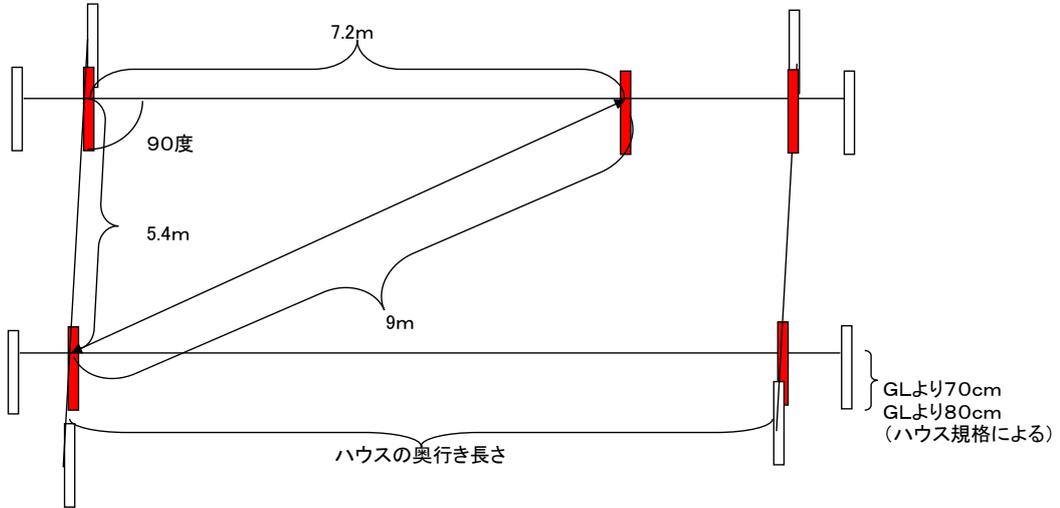
使用工具類(全て揃わなくとも工夫すればできま)



# ハウス建て方手引書

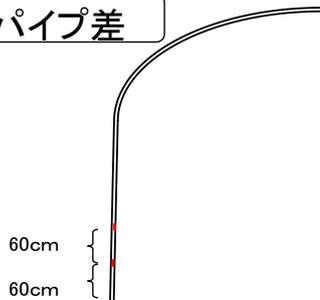
## 丁張り作業

間口3間(5.4m)の場合



直角を出すには、3間(5.4m)x4間(7.2m)の対角線長さが5間(9m)になるように測ってください  
目安として建てた赤い杭は曲がりパイプが立つ部分にあたるので後ほど撤去します  
また、対角線を図り、同じ長さになるようにしないとひし形になって居ます

## 曲がりパイプ差



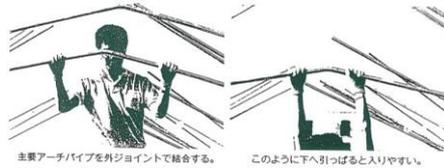
曲がりパイプには両端から60cm毎にマークが付いてますので  
SE30型とSEK30型は差込深さが40cmなのでGLより80cm  
EK305~ELK40型は差込深さが50cmなのでGLより70cm  
の位置に水系が来るようにして下さい。

また、奥行き方向に直管パイプを配置しておく、45cm毎に  
マークが付いているので、曲がりパイプを挿す位置が判って  
作業効率が上がります

オーガ等で下穴を開け、そこに曲がりパイプを挿して2個目のマークが  
水系に合うように高さを調整して穴周りを足で踏み固めて沈まないように  
しておきます。(さほど正確でなくとも直管パイプを付ける際に調整は可能です)

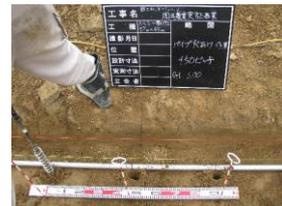
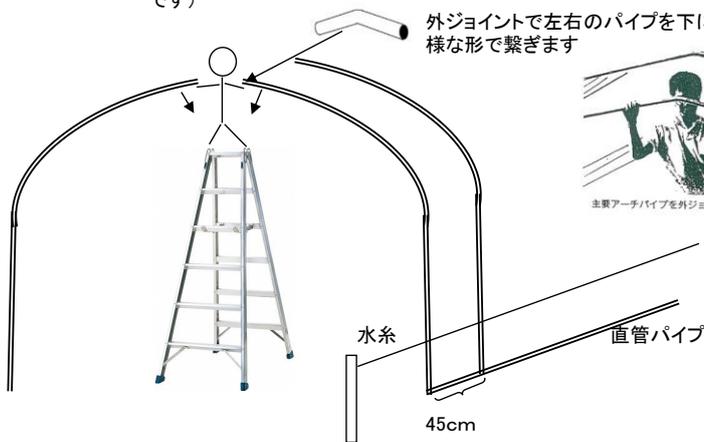
です)

外ジョイントで左右のパイプを下に押し下げる  
様な形で繋ぎます



主要アーチパイプを外ジョイントで結合する。

このように下へ引つると入りやすい。



# ハウス建て方手引書

奥行き直管パイプは仕様によって以下に表記する部品で接続になります。

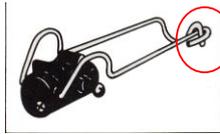
## 中ジョイント



中ジョイントが見えなくなるように挿してください

## 直管パイプ取付

### 端末フック等



この先端が内側を向くように取付します。

### フックバンド



19mmは灰色  
22mmは青色

この先端が内側を向くように取付します。

### フックバンド



19mmは灰色  
22mmは青色

ハウスの前後は端末フックで受けます。同じサイズ表記にはなっていますが、峰の外ジョイントは少し左右が下がっているのと同じ規格であっても針金バンドは掛かります。また、

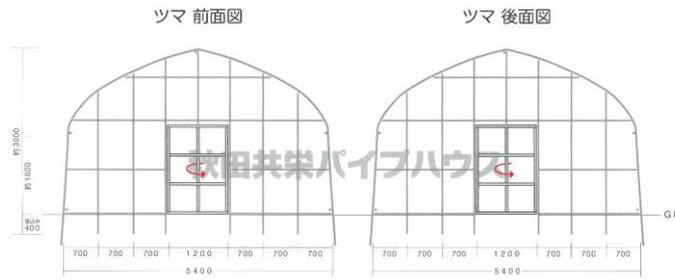
峰の部分はフックバンドを外ジョイントの上から被せるようにして、直管の45cmピッチマークに合わせて固定して行きます。肩と裾部分の直管パイプは峰同様にフックバンドを使い交差して止めます。こちらも45cmのピッチマークに合わせてます。

直管パイプには45cm毎にマークが入っていますので、裾、肩、峰の直管パイプの固定の目安として下さい。

**風対策の為に、裾の直管パイプは10~20cm位曲がりパイプの足元を掘削の上、埋設になるようにして取り付けをお勧めします。また、前年中に骨材を建てて、冬を越してパイプ足元の土が締まる様にしてから、フィルムを掛けると風などに強くなります。**

# ハウス建て方手引書

## 妻面組立

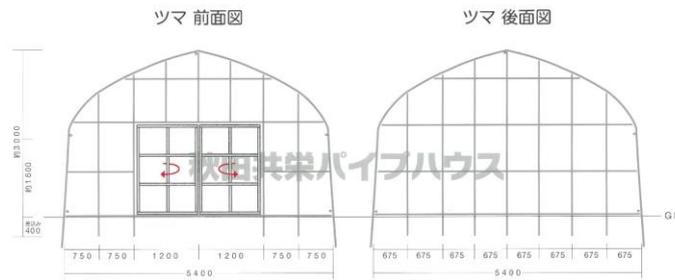


ここでは22φx4.8mおよび25φx4.8mのハウスの妻面の組立方を解説します。  
まずは、縦柱のパイプを間口図面に従って、妻曲りの組に水糸もしくは直管を置き、直線を出します。  
下の間口縦パイプの寸法に合わせて、直管を地面に差し、その後、アーチパイプの下端より35mm程度で直管を切ります。そこに自在金具を刺して、水準器を使いながら垂Ⅱになる様にして、固定します。この場合、自在金具の蝶Ⅱは必ずハウスの内側になる様にしましょう。

パイプドアの際には事前にドア左右のリングを通して直管を立てます。リングは上下にオフセットしていますので、下に近い方を下に向けて通して下さい。このリングの直下(最下段のパイプが固定されて、リングの受けとなります。場合に拠っては、ビニペット用のパイプコーナージョイントで支える事が可能です。

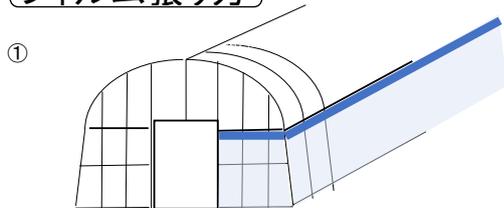
また、水平にドア上に重なる様に内側にパイプを取付け、ドアが内側に入らない様にします。  
ドア上に1本、ドア脇に2本直管が水平に入る様に外付け、両端は自在管、T型バンドなどで取付けます。

交点はクサビクロス(フックバンド)で固定します。



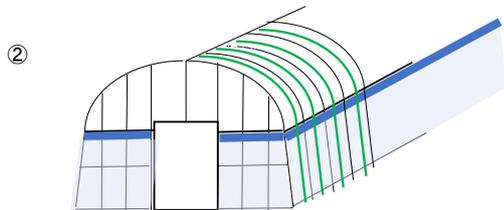
奥行直管を取り付ける際に水糸などを曲がりパイプに張って、一定の高さになるようにして下さい。この高さがテグハグだと、ハウス骨材の曲がりに結び付きます。ハウスは全体が外にはじけようとする力で建っていますので、ゆがみがあるとそこに力が集中します。

## フィルム張り方



ハトメ部分  
肩直管等(この部分にハウスベルトで結びます。)

① 側面は、ハトメにハウスベルトを通して、肩部分の直管に結びます。ドア部分は側ビニールの残もしくは別途フィルムをご用意頂き、パッカーで取付けます。



② 側フィルムを付けて、屋根フィルムを中央部の張り合わせ部分を参考に左右バランス良く掛けて、前後の妻面のパイプに付属パッカーで固定します。

③ 屋根フィルムはハウスベルトをアーチの間毎に掛けて、裾直管に結びテンションが掛かる様にします。側フィルム裾は土を掛けて風が入らない様にします。換気の際には屋根フィルムをたくし上げしたり、側フィルムのハトメを縛っているハウスベルトを外し、下に下げたりして換気します。

この方法に適したフィルムは塩ビ系のフィルムとなります。  
ポリオレフィン(PO)はベルトとのスレで破損し易く、ビニペットが入ったハウス向けとなります。  
POフィルムにハトメ加工などは外注になってしまうので、7~14日程度の時間が掛かる事をお詫び申し上げます。